

令和 8 年度

京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科博士前期課程（修士課程）デザイン学専攻 一般入試
入学者選抜学力検査問題

専門科目（特定課題型）

（150 分）

〔注意事項〕

1. 監督者の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. この問題冊子は 2 枚からなっています。また、解答用紙は問題文中に指示されている解答用紙を使いなさい。この冊子、解答用紙、下書用紙を確認し、落丁・乱丁および印刷の不鮮明な箇所などがあれば、手をあげて監督者に知らせなさい。
3. 使用するすべての解答用紙に受験番号を記入しなさい。
4. 試験後に、問題用紙、解答用紙、下書用紙など配布物は回収します。

問題

コンビニエンスストアにおける新たなサービスを提案しなさい。提案するサービスの提供に関連する機器、空間、グラフィックなどをデザインし、B3 解答用紙 1 枚にデザイン案を描きなさい。また、B4 解答用紙（ケイ線入り）には設定したサービスの内容と、デザインコンセプトを記述しなさい。

解答は、以下の＜条件＞に従い行うこと。

＜条件＞

- 1.B3 解答用紙には、A3 下書き用紙に作成した文章、スケッチ、図面、図解などを貼り込んでもよい。
- 2.B3 解答用紙は、縦、横どちらで使用してもよい。
- 3.B3 解答用紙は、受験番号が印刷されている方を裏面として使用しなさい。
- 4.以下の貸与画材は、必ずしも全て使用する必要はない。

配布用紙

- ・ B4 解答用紙（ケイ線入り）：1 枚
- ・ B3 解答用紙（白ケント紙）：1 枚
- ・ A3 下書き用紙：3 枚

貸与画材

- ・ サインペン黒（中太）
- ・ サインペン黒（細）
- ・ 色鉛筆
- ・ 小型鉛筆削り
- ・ スティックのり
- ・ ハサミ

(以上)

令和8年度

京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科博士前期課程（修士課程）デザイン学専攻 一般入試
入学者選抜学力検査問題

専門科目（論文型）

（150 分）

〔注意事項〕

1. 監督者の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 次頁以降の選択問題 1～4 の中から 1 つの問題を選択し、解答しなさい。
3. 各選択問題の配点は同じです。
4. この問題冊子は 2 枚からなっています。また、解答用紙は 4 枚（けい線入り 2 枚、けい線なし 2 枚）、下書用紙は 1 枚あります。監督者から解答開始の合図があったら、この冊子、解答用紙、下書用紙を確認し、落丁・乱丁および印刷の不鮮明な箇所などがあれば、手をあげて監督者に知らせなさい。
5. けい線入り解答用紙と、けい線なしの解答用紙のどちらを使ってもかまいません。使用する解答用紙に受験番号を記入しなさい。
6. 選択した問題番号を、解答用紙解答欄上部左側に記入してから解答しなさい。
7. 試験後に、問題用紙、解答用紙、下書用紙など配布物は回収します。

選択問題 1 (デザイン分野)

以下の①～③の問いに答えなさい。

- ① デザイン活動を支援する情報技術やその活用方法は日々変化している。3つの種類の具体的な技術を選んで、最近10年程度の変化についてそれぞれ概説しなさい。
- ② 上記①で述べた技術変化の中から一つ選んだ上で、その変化がデザイン教育に与えた影響と課題、及び変わらない本質についてあなたの考えを述べなさい。
- ③ 上記①で述べた技術変化の中から一つ選んだ上で、その変化がデザインの成果物と市場に与えた影響と今後の展開についてあなたの考えを述べなさい。なお、②で選んだ技術変化と同一である必要はない。

選択問題 2 (ビジネス分野)

以下の問いに答えなさい。

「製品ライフサイクル」について説明するとともに、それぞれの段階毎に企業が採るべき戦略について述べなさい。

選択問題 3 (キュレーション分野)

以下の問いに答えなさい。

今年開催された大阪・関西万博をあげるまでもなく、多くの国々が参加する万国博覧会などの国際的な展示の場においては、自国もしくは自国以外の国々や文化を紹介するスペースが多く存在する。あなたが自分が所属する文化ではない「他者」(他の国々や文化)のキュレーションを行う場合、どのような展覧会を構想しますか。展覧会のタイトルをあげたうえで、できるだけ具体的に記述しなさい。図を含めても構いません。

選択問題 4 (テクノロジー分野)

現代の科学技術は社会に多大な恩恵をもたらしている一方で、環境・社会・倫理・安全性など、さまざまな側面において負の影響やリスクを内包している。これらの点を踏まえ、以下の①～②の問いに答えなさい。

- ① 科学技術に内在する負の側面について、環境・社会・倫理・安全性など複数の視点から体系的に分析し、それらが生じる理由を具体例を用いて論じなさい。
- ② これらの負の側面の理解が、科学技術の健全かつ持続的な発展に対してどのような役割を果たすか論じなさい。

(以上)

Spring Admissions for the 2026 Academic Year

Academic Field of Design

Kyoto Institute of Technology (KIT) Graduate School of Science and Technology

Master's Program Admission Requirements for General Students

The Entrance Exam

Specialized Subject (GCDP course)

(150 min)

[Precautions]

1. Do not open this question booklet until instructed to do so by a supervisor.
2. This booklet consists of two sheets. You also have one answer sheet and three draft sheets.
When the supervisor signals you to begin answering the questions, check this booklet, the answer sheet, and the draft sheet. Raise your hand to inform the supervisor if you find any missing, incorrect pages, or unclear printouts.
3. Write the examination question number on the answer sheet.
4. This booklet, answer sheets, draft sheet, and other handouts must be collected after the exam.

Read the sentence below, then answer the three questions that follow.

As the scope and responsibilities of design practices continue to expand, designers are increasingly required to re-consider the nature and impact of their activities within broader and more dynamic contexts. This shift demands engagement not only with immediate outputs or user needs, but also with the interconnected systemic and planetary scales that shape and are shaped by design interventions. In doing so, designers must cultivate an awareness of the complex social, technological, ecological, and political forces at play, as illustrated in Engholm's framework (see Figure below, Engholm 2023).

著作権の関係で掲載しておりません

Available from <<https://planetarydreaming.org/da/fra-fire-til-fem-niveauer-af-design/>>
[Accessed 27th November 2025]

Q1.

Define the existing roles of design within the fields of graphic, industrial, and interaction design, and provide examples for each.

Q2.

Describe your understanding of systemic and planetary-level challenges, including relevant examples.

Q3.

Based on the roles identified in Q1, explain how these forms of design might expand or adapt their scope to address the systemic and planetary-level challenges outlined in Q2.

- There is no word limit.
- You are encouraged to use illustrations, diagrams, and tables to support your ideas.
- Answer Sheet: B4
- Draft Sheets: B4 × 3

— 専門科目（特定課題型） —

「場」とそこで繰り広げられる「コンテンツ」には相関関係が生じる。同時に、それらは時代の変遷によって変化して行く。ある所定の「場」を設定し、これまでのそこで展開されてきた上記相関関係を顧み、人の生活の未来を予測し、新たなモノやサービス、システムをデザインし、具現化させ、歴史、社会性の把握力、流通、システム、工学等、そしてそれらをまとめるデザインを定着させる。

— 専門科目（論文型） —

選択問題 1（デザイン分野）

1) 社会的な動向に関心を持ち、背景知識も含めて学習しているか、2) 作り手の立場で分析的な視点を持っているか、3) 具体的、部分的な事柄から抽象的、全体的な現象を捉える思考力と説明力（論述力）があるか、を総合的に評価するための出題である。

選択問題 2（ビジネス分野）

ビジネス分野の基本概念である「製品ライフサイクル」について問うことで、大学院入学に必要な基礎的知識があることを確認する。

選択問題 3（キュレーション分野）

多くの国々が参加する万国博覧会などの国際的な展示の場においては、自国もしくは自国以外の国々や文化を紹介するスペースが多く存在する。本設問は、グローバル社会における多種多様な価値が混在する現代において、博物館等における展覧会に限らずさまざまな展示の機会に際して必要な知識や技術について問うものである。自らが所属する国、人種・民族、性別等を超えて「他者」の価値を伝える展示の場の構想について、展示のコンセプト、想定される出品物、展示の方法等、キュレーション分野の学習に必要な論理的な思考力や記述力を評価する。

選択問題 4（テクノロジー分野）

① の意図

科学技術に内在する負の側面を、環境・社会・倫理・安全性など複数の観点から体系的に捉え、具体例を用いてその発生要因や背景を論理的に分析できるかを評価する。

② の意図

①で整理した科学技術の負の側面に対する理解を踏まえ、それらがリスク管理や制度設計、研究者や社会の倫理的姿勢にどのように反映され、科学技術の健全かつ持続的な発展にどのように寄与し得るかを、展望的に考察できるかを評価する。

— 専門科目 (DD コース型) —

The question is asking you to do three connected matters, moving from definition → understanding → application/expansion.

Q1.

What is being asked:

Identify the existing / conventional roles of:

Graphic design

Industrial design

Interaction design

Explain what each field typically focuses at the current situation.

Q2.

What is being asked:

Explain what systemic challenges are (complex, interconnected problems across different stakeholders, governmental, industrial and cultural issues)

Explain what planetary-level challenges are (global, ecological, socio-technical and socio-spatial issues) with examples (e.g. climate change, natural resource extraction, digital surveillance, social inequality).

Q3.

What is being asked:

Take the design roles you described in Q1, then explain how they could expand, adapt, or shift in broader contexts.

Show how these fields can respond to the systemic and planetary challenges discussed in Q2.